

日本看護シミュレーションラーニング学会

(Japanese Nursing Society for Simulation and Learning)

岡谷恵子・阿部幸恵

一般社団法人日本看護シミュレーションラーニング学会は、2018年10月26日に一般社団法人の認証を受け、同月29日に発足しました。岡谷が学会長を勤めています。

学会の名称に「教育」ではなく、「ラーニング」を使用したのは、これからの看護人材の育成には、学習者主体の能動的学習が重要であると考えたからです。学会設立の目的は、看護学教育におけるシミュレーション学習の開発、評価、普及に努め、看護学教育の進歩と質の高い看護を実践できる人材育成に寄与することです。学会の主たる事業は、学術集会の開催、教育研修、研究、教材開発、海外の関連学会との協働事業、広報活動、産学協同事業と多岐にわたります。記念すべき第1回学術集会は、大会長を阿部が務め、2020年3月1日(日)に東京医科大学で開催します。

学会が提供するコースの特徴は、まず、International Nursing Association for Clinical Simulation and Learning (INACSL: 国際看護シミュレーションラーニング学会)が出している「INACSLベストプラクティススタンダード」編集部注に沿って、指導方法を学ぶことです。このスタンダードは、「シミュレーションのデザイン」「学習成果および学習目標」「ファシリテーション」「ディブリーフィング」「学習者の評価」「プロフェッショナル・インテグリティ」「多職種連携シミュレーション教育 (Sim-IPE)」「シミュレーション用語集」「シミュレーションの運用」から構成されています。

そして、理論的なこと、実際の指導を評価し、学会が設定した基準に達した者にコースの修了証を授与する予定です。現在は、ベーシックコースのみであるが、e-Learningで事前に学修、コース受講後は修了時のテストを受けていただき、合格点に満たない場合は修了となりません。今後、アドバンスコースも開設し、実技的なことも評価しながら進めていくことを考えています。

本学会の指導者養成コースを受講した方々が身につける知識や技術を明確にし、それをきちんと評価をしながら、真にアクティブラーニングの1つであるシミュレーションラーニングを支援できる指導者を育成していきたいと考えています。

シミュレーション学習は、学生が実践能力(知識・行動・態度)を確実に習得できる有効な手段であることを信じて、質の高いシミュレーション学習の普及、開発、評価に取り組みます。多くの方の学会への入会をお待ちしております。

学会ウェブサイト: <http://janssl.jp/>



編集部注: INACSL (: The International Nursing Association for Clinical Simulation and Learning) が定めた、シミュレーション教育についての、根拠にもとづいたガイドライン。2011年に初版が発行され、現在第3版。伊藤綾子先生・阿部幸恵先生(東京医科大学医学部看護学科)が日本語化を監修し、Webで無料公表されている。https://www.inacsl.org/INACSL/document-server/?cfp=INACSL/assets/File/public/standards/INACSL_SOBP_Combo_Japanese.pdf

